鹿児島のバス 2025年10月報

■港と路線バス

発行者：バスフォーラム鹿児島　執印友之

諸浦港でフェリー接続していた南国交通のコミュニティバス　写真提供：toku

鹿児島県は、二つの大きな半島と、多くの離島で構成されていて、離島航路に限らず、多くの旅客船が活躍しています。

これらの船が発着する港と、市街地や駅などの拠点を結ぶ路線バスが昔から設定され、現在でも活躍中です。

大規模な港湾改修に伴う発着場所の移転や、コミュニティバスやデマンド運行に転換されたローカル線まで含めると、たいへん多くの事例が思いつきます。

蔵之元港

現役の旅客航路の港に発着する路線バス

蔵之元港（牛深）

長島から天草、島原を経由して大牟田に至る海上国道の1つ、国道389号海上区間の起点にあたる港。南国交通の指江経由平尾行きの路線（長島島内西

回り）の一部が従来から複乗で立寄っていた。

九州新幹線の全線開通を前に、10年から出水駅まで天草ロマンシャトルの運行が開始され、船と接続している。

阿久根新港

阿久根新港（阿久根大島）

無人島に渡る船が定期的に運行されている珍しい事例。島にはキャンプ場や海水浴場が整備され、以前は、連絡船の運行や島の管理まで南国交通が行っていた。

阿久根新港整備前は、阿久根駅に近い漁港に船が発着しており、定期路線バスはなかったが、現在は、川内～阿久根間の南国交通がすべて阿久根新港まで乗り入れている。

川内港ターミナル

川内港ターミナル（甑島）

04年に甑島の4村が薩摩川内市と合併したことで、高速旅客船が発着する港を市内に設けることとなり、川内川河口の京泊地区に旅客船ターミナルを新たに整備し、14年から供用された。

路線バスは、従来から運行していた南国交通の川内～京泊線を再編し、高速船接続バスの中に組み込んでいる。高速船の発着と連絡バスは完全に接続が図られており、繁忙期の高速船臨時便にもバスを増発して対応する。

串木野新港

串木野新港（甑島）

87年に、串木野国家石油備蓄基地建設に伴って発生した安山岩の岩砕による埋め立てにより、西薩中核工業団地に隣接して新たにフェリー発着が可能な港が整備された。

以前は、より市街地に近い串木野漁港に船の発着所があり、林田バスの串木野市内線や鹿児島からの急行バスが立寄っていた。

甑島4村が薩摩川内市と合併した際、串木野新港と薩摩川内市役所、川内駅とを結ぶ南国交通の連絡バスが発着するようになった。

14年に甑島航路の高速船が川内港発着とな

った後も、フェリーの発着は継続しており、鹿児島交通の串木野駅行き、高速バス「こしきじま号」が接続している。

山川桟橋

山川桟橋（根占）

錦江湾を横断する航路のうち、最も南に位置する佐多航路、根占航路が発着した。佐多航路については、国道269号の海上区間となっていたが、80年に廃止された。

00年までは、港の直近に、JR九州の山川自動車営業所があり、営業所構内のバス駅「山川港」から山川駅を経由して、開聞、枕崎方面にバスが発着していた。同社が撤退後、鹿児島交通が路線を引き継いだ。

鹿児島交通は、航路がグループ会社の運航だったこともあり、指宿市内ローカルや鹿児島空港連絡バスが発着したが、空港連絡バスは廃止され、現在は鹿児島～指宿～たまて箱温泉線、知林ヶ島入口～開聞駅前～池田湖線が立寄っている。

谷山港

谷山港（種子島・屋久島）

錦江湾の埋め立て整備により、谷山二号用地の南端近くにフェリー発着が可能な谷山港が整備され、70年代はじめに鹿児島（谷山）～志布志～大阪航路が開設された。谷山港は市街地中心部と離れていることから、市営バス29番線が西鹿児島駅まで運行されていた。

大阪航路が志布志に短縮され、市営バス路線も路線再編により85年に廃止されたが、種子島航路の高速船運航のための条件を満たすため、05年に種子島、屋久島航路が新たに発着するようになると、鹿児島交通の5番線鹿児島～七ツ島一丁目間のバスが、フェリー連絡のため、立寄るようになった。

鴨池港

鴨池港（垂水）

鴨池垂水フェリーに接続して鹿児島交通が発着しているほか、鹿児島市営バスも起終点として、南国交通は県庁の通勤ダイヤの起終

点として乗り入れている。

80年代の鹿児島市の計画では、交通結節点として、鴨池が挙げられており、鴨池港のバスターミナルがバスとフェリーのほか、バス同士やその他の移動手段の乗換拠点としても位置付けられていた。

大隅地域との連絡を考慮し、鹿児島空港への連絡バスの発着もあったが、コロナ禍後運休が継続している。

高速船ターミナル

鹿児島新港（奄美・沖縄）

奄美沖縄航路接続バスとして、80年代はじめに旧林田産業交通が西鹿児島駅との間で接続バスを運行開始、現在は鹿児島交通が引き継いでいる。

船の到着が遅れた場合は、バスの発車も調整する対応がとられており、「ポートライナー」の愛称もある。繁忙期は駅と港を直行する続行便対応も行っている。

高速船ターミナル（種子島・屋久島）

船の接続に限らず、都市間高速バスターミナルとしての機能もあり、建屋内に鹿児島交通の高速バス案内発券窓口がある。

鹿児島空港や、熊本、福岡へのバスのほか、志布志港直行のさんふらわあライナーも発着している。

新幹線開通後、しばらくは、等間隔ダイヤで鹿児島中央駅を結ぶシャトルバスが運行されていたが、大幅に縮小され、南国交通のドルフィン号と、鹿児島市営バスを引き継いだ鹿児島交通の26番線が発着する。

鹿児島新港

南埠頭（種子島・屋久島・三島・十島）

ターミナル供用後しばらくは、種子島と屋久島航路が到着する時間帯に、天文館方面への接続バスが設定されていたが、現在は鹿児島交通が乗り入れているものの、到着のみの維持路線と化している。運行時刻も船との接続は考慮されていない。

南埠頭

北埠頭（喜界・奄美）

89年に運航開始した高速船トッピーは、当初ぼさど桟橋に発着し、林田バスによる連絡バスが運行されていた。

93年に、暫定使用として北埠頭旅客ターミナルが高速船に使われるようになり、桜島フェリーやかごしま水族館への連絡を兼ねて、北埠頭発着の路線バスが頻繁に運行された。ぼさど桟橋から発着場所の変更であり、北埠頭には林田バスと新たに鹿児島交通が乗り入れた。

北埠頭

07年に南埠頭高速船ターミナルが完成し、高速船が移ると、再びバスも移転し、以後年々発着数が減っていき、現在バスは到着のみ。鹿児島交通が1便乗り入れて、路線が維持されている。残る喜界・奄美航路との接続は考慮されていない。

桜島桟橋（桜島）

98年に桜島フェリーの鹿児島側発着ターミナルとして岸壁やターミナルビルが整備され、隣接道路にバス停が設置された。鹿児島交通、鹿児島市営バスが頻繁に発着しており、観光地周遊バスカゴシマシティビューも停車する。ターミナルビルはかごしま水族館敷地と連絡橋でつながっており、バスはフェリーだけでなく、水族館利用者も多い。

桜島桟橋

旧ターミナル時代は、林田バス、国鉄バスがそれぞれ数便ずつ停車するバス停があったが、便数が少なく、場所も離れていた。

桜島港（鹿児島）

桜島フェリーと、バスの乗り継ぎターミナルとして整備され、18年に新ターミナルがオープンした。隣接のバス乗り場から、市営バスが主に白浜、黒神方面、鹿児島交通が東桜島、垂水方面へ運行している。また、周遊観光のサクラジマアイランドビューの起終点となっている。

00年までは、JR九州バスが乗り入れており、旧ターミナルには、バス駅である「桜島港駅」があった。廃止後、バス路線は鹿児島交通が引き継いでいる。

04年の市町村合併までは、桜島町営バスが運行しており、ビル内に営業所と、隣接地に車庫も置かれていた。市営、JR九州バスによる桜島定期観光バスの発着もあったが、全廃された。

桜島港

垂水港

垂水港（鴨池）

98年に旧港から本城川をはさんだ南側埋立地に新たにターミナルが整備され、バスの発着も変更された。

00年までJR九州バス国分線が発着し、桜島港のほか、国分駅経由鹿児島空港まで結んでいたが、鹿児島交通に運行が移管された。鹿児島交通は、フェリーが従来から関連会社による運行であったため、フェリーの発着と接続する形で、根占、鹿屋、高山、志布志方面へ走っていた。

高速道路の延伸や、港に隣接する駐車場利用によるバス利用者減に伴い、現在は、フェリー完全接続とはなっていない。

旧港の方が市街地に近く、バスの車庫も隣接していることから、現在も、鹿屋方面からのバスは、旧港にある「垂水」バス停まで運行されている。

根占港

根占港（山川）

鹿児島交通の根占～鹿屋線の一部がフェリーの発着時刻に合わせて立寄る。

3月から10月まで、南大隅町による佐多岬や雄川の滝などを巡る観光周遊バスが、フェリーに接続して1日1便運行されている。

志布志港　写真提供：toku

志布志港（大阪）

フェリーさんふらわあの発着に合わせ、鹿児島交通の鹿屋方面への路線と、鹿児島への直行バス「さんふらわあライナー」が接続している。この直行バスは、県の補助を受け、船利用者には運賃無料となる措置が運航開始以来継続している。

かつて、東京～奄美～沖縄航路が発着していたフェリー乗り場へは、バスの連絡はなかった。

里港

里港（川内、串木野）

高速船、フェリーに接続し、島内を縦断するコミュニティバスが発着している。定期観光のきゃんぱくバスの起点にもなっている。

港が整備される前の旧港にもバスは立寄っており、里港発車前後に旧港へ複乗区間がある。

長浜港

長浜港（川内、串木野）

高速船、フェリー寄港地が整理集

約された結果、甑島全体の本土へのターミナルとなっている。島内各地を結ぶコミュニティバスが接続しているほか、定期観光のきゃんぱくバスの終点にもなっている。

西之表港

西之表港（鹿児島・屋久島）

島を縦断し、種子島高校～南種子を結ぶさんまりん観光の路線バス全便が港を経由し、高速船、フェリーに接続している。また、西之表市のコミュニティバスも港に立ち寄る。

かつて、種子島交通の路線バスも発着していたが、路線バスの参入自由化に伴い、競合状態となり、撤退した。

宮之浦港

宮之浦港（鹿児島・種子島）

高速船とフェリーに接続し、屋久島島内のほぼすべての路線バスが発着する。ただし、フェリーはいびすかすについては、連絡バスがない。

種子島・屋久島交通は、永田～安房～大川の滝間の幹線バスが立寄るほか、白谷雲水峡へのバスが起終点となっている。

まつばんだ交通は、各地に運行していたバスを大幅に縮小した結果、荒川登山バスに接続する1往復のみ運行があるが、船便への接続は考慮されていない。

安房港

安房港（鹿児島）

高速船の発着に合わせ、種子島・屋久島交通の路線バスが発着する。永田～安房～大川の滝間の幹線系統のほか、紀元杉方面の一部の便が立寄る。

高速船が気象条件等で宮之浦港へ発着地が変更になる場合、宮之浦港へ早朝臨時接続バスが運行される。

せとうち海の駅（加計呂麻・鹿児島）

瀬戸内町古仁屋のせとうち海の駅は、路線バスとフェリーなどの交通結節点として整備され、乗り場が集約されている。発着する船は、鹿児島～喜界～平土野～知名航路と、加計呂麻島のほか、与路島、請島への航路があるが、鹿児島航路とバスの接続は考慮されていない。

バスは、しまバスの名瀬市街地行きが起終点となるほか、瀬戸内町内を走る瀬戸内海浜バスが立寄る。

せとうち海の駅

瀬湘港・生間港（古仁屋）

フェリーの発着に合わせ、島内を走る加計呂麻バスが完全接続する。

島内各方面へ向かうバスが港に整列する様子は、各種メディアでも紹介されることが多い。バスの乗務員がフェリーの荷扱いを兼務しており、さらに、船からバスに積み込んだ新聞を路線バス運行中に配達していく。

瀬相港

生間港

亀徳新港（鹿児島・沖縄）

徳之島空港行きの総合陸運バスが起点としてターミナル前に乗り入れる。

また、亀津市街地を循環運行する伊仙方面のバスは、少し離れた県道上の亀徳新港入口バス停に停車する。船便接続というより、バス運行上の1拠点になっており、航空便への接続が考慮されている。

亀徳新港

航路がなくなったり、バス路線が縮小された事例

米ノ津港

伊唐島、獅子島航路が発着し、かつては、JR九州バス北薩線が乗り入れていた。

船便接続ではないが、少し離れた国道上に従来から米ノ津港入口バス停があり、南国交通の出水～水俣間のバスが停車している。

諸浦港

獅子島を経由し天草市を結ぶフェリーが発着し、南国交通の鷹ノ巣～諸浦港線が接続していた。

バス路線廃止後、コミュニティバスが代替し、巡回バスが運行されていた。

黒の浜

黒の瀬戸大橋まで長島を結ぶ県営フェリーに接続し、南国交通が阿久根、出水方面へ路線バスを走らせていた。

橋の開通以前から、長島島内の路線バスは南国交通が運行しており、長島の瀬戸港から、島内のバスが接続していた。

指宿港

種子島・屋久島を結ぶ高速船の発着に合わせ、鹿児島交通が指宿駅、指宿いわさきホテルを結んだ。現在接続バスはない。

加治木港

鹿児島空港が現在地の溝辺に移転した際、鹿児島～加治木間にホーバークラフトが運航され、接続バスが発着した。鹿児島空港リムジンと南国交通が鹿児島市内線の間合いで運行していたと考えられる。

船の発着は無くなったが、南国交通の路線バスの発着は継続しており、溝辺下十文字、鹿児島空港を結んでいる。

古江港

高速船きんこう（ぼさど桟橋～古江～指宿）に接続し、垂水～鹿屋間のバスが立寄っていた。

25年にマリンポートかごしま～古江間の航路「なんきゅう」が開設されたが、連絡バスは設定されなかった。航路は運休中である。

中甑港・平良港・鹿島港・手打港

串木野新港行きのフェリーや高速船シーホーク、高速船甑島に接続し、島内を運行するバスが発着していた。甑大橋の開通後、寄港地の整理が行われた結果、船の発着は無くなったが、船に代わって、バスが里港、長浜港への連絡を担っている。

島間港

屋久島町営のフェリーが宮之浦港を結んでいる。かつては、南種子町上中～島間港間に種子島交通の路線バスがあったが、廃止され、町のコミュニティバスに転換された。現在は、デマンド制になっている。

名瀬新港

鹿児島～沖縄航路に接続し、早朝、しまバスが古仁屋行きを運行していたが、接続バスと共に、バス停も廃止された。

かつては、奄美交通、岩崎バス合わせて早朝3便の接続バスが一斉に発車していたほか、夕方名瀬新港行きのバスもあった。

現在は、最寄りバス停の「塩浜入口」からのバス利用を案内している。

和泊港・伊延港・知名港

鹿児島～沖縄航路の発着に合わせ、最寄りの営業所から、ワゴンタクシーがデマンド運行される。かつて和泊港には定期バスの立寄りがあった。

■最近のバス関連の話題から

廃止路線関係

鹿児島交通羽島、土川線

羽島車庫を通過する鹿児島交通串木野駅行き

9月30日限りで串木野駅～荒川～羽島車庫～土川入口間の運行が廃止となり、10月1日よりいちき串木野市コミュニティバスいきいきバスに転換されます。また、同日いきいきバスは羽島荒川線と木原墓地線とが統合され、新たな路線となります。

羽島車庫～土川入口間については、バスの発着に合わせて、れいめい羽島協議会自動車部会による予約制の送迎車「ライド号」が運行されます。

鹿児島交通志布志～都城線

9月30日限りで、地域間幹線系統から広域的コミュニティバス路線に変更されます。

概要

広域的コミュニティバス路線は、民間事業者による運行が終了する地域間幹線系統について、市町村が民間事業者に代わって運行主体となり、運行を継続するもの。

変更する系統

志布志～稚児松～松山駅～岩川～中央通り～都城

変更理由

当該系統は、近年、輸送量が減少し、地域間幹線系統として国庫補助を受けることが困難な状況となっている。このような中、沿線自治体である都城市、曽於市及び志布志市は、バス路線を維持するため、25年10月から広域的コミュニティバス路線として運行を引き継ぐとの方針をまとめたもの。

【現行】地域間幹線系統（運行主体：鹿児島交通株式会社）

【変更後】広域的コミュニティバス路線（運行主体：都城市、曽於市、志布志市）

南九州市チョイソコひまわりの運行と「生活交通バス」の廃止

霜出げんき館で相互乗り継ぎのために並ぶひまわりバス

9月30日限りで「生活交通バス」、「ひまわりタクシー」、「新ひまわりタクシー」は廃止となり、各地域（頴娃地域・知覧地域・川辺地域）を運行するAIを活用した予約型乗合タクシー「チョイソコひまわり」に変わります。

（ひまわりバス）

09年9月から、市内の公共交通空白地域・不便地域を解消するために、各地区の拠点を結ぶ「拠点間バス」と地域内の通院・買い物・温泉施設等の日常生活に必要な行動を支援する「生活交通バス」の2種類を運行しています。

（拠点間バス（2系統））※引き続き運行

市役所の各支所や主要施設のある地点のある地点を連絡するもので、それぞれ1日4往復8便運行します。（頴娃～川辺線は朝便もあります。）

1便から5便は、日曜日を除く毎日運行しています。朝便、6、7、8便は、土曜日、日曜

日、祝日が運休です。

10月1日から、運行事業者が地元事業者（南九州あづま交通、池田観光、さつま観光バス）に変更になり、引き続き運行します。

（生活交通バス（28系統））※9月30日をもって廃止

各地区で、週1から週2往復便運行します。

運行日は、月曜から金曜日の週1から週2回で、運行ルートにより曜日が異なります。

（運賃）

料金は全区間均一で、乗車1回あたりの料金は以下のとおりです。

大人（高校生以上）：100円

小中学生：50円

未就学児：無料

障がい者：無料（手帳の提示が必要）

65歳以上の運転免許証自主返納者：無料（警察署発行の証明書の提示が必要）

鹿児島交通関係

10月1日ダイヤ改正の時刻が公表されましたが、以下の系統（路線）は廃止される模様です。

・鹿児島駅前～花野団地～丸岡

・川内～入来線のうち、山田、永利下手バス停を廃止し、運行経路を見直し

永利下手バス停を行く入来行き鹿児島交通

沖永良部バス企業団永嶺線、後蘭線、ガジマル線ほか3路線を休止

沖永良部地域公共交通活性化協議会（会長・前登志朗和泊町長）は10月から約5か月間、「デマンド交通」の実証運行を行うことを了承した。実証運行中は現行の永嶺線、後蘭線、ガジマル線ほか3路線を休止する。

休止するのは同3路線のほか、予約型乗り合いバス（港デマンド）の和泊港線、伊延港線、知名港線。

基幹路線の空港線、知名・国頭線は運行を継続する。

事務局が報告したデマンド交通の運行計画によると、運行時間帯は現行の永嶺、後蘭、ガジマル3路線の運行時間帯に合わせた午前7時半～午後6時。停留所は現在の路線バスと予約乗り合いバスの停留所と同じ地点に設置する。

デマンド交通の予約は予約センターで乗車希望日の3日前から乗車時刻の1時間前まで受け付ける。利用する場合は同センターに連絡し、希望する乗車区間や時間を伝える。インターネットによる予約も受け付ける予定。

デマンド交通の運賃は同協議会後の運賃協議会で決めた。乗車距離に関わらず一律の料金で、1乗車の通常運賃は400円。割引対象の高齢者は160円、中高生200円、小学生100円とした。

実証運行終了後の運行形態については、実証運行中の利用状況などを評価し、26年1月ごろに決定する。

このほか、事前の予約に基づきルートを決定するデマンド交通では、これまで行っていた停留所以外でも

乗降できる「自由乗降」の運用ができないため、今後、停留所を追加する形で利便性を確保するとしている。

大雨災害に伴う影響

8月6日からの大雨に伴い、日豊本線国分～霧島神宮間、肥薩線隼人～吉松間において鉄道代行バスが運行されました。

加治木観光バス運行の日豊本線代行バス

日豊本線については、9月19日復旧となりましたが、肥薩線は、年内は困難とされており、バス運行の長期化が想定されます。

また、国道10号の網掛橋、国道223号の塩浸発電所付近が通行止めとなっており、路線バスの迂回が継続しています。

加治木高校前を迂回する鹿児島交通

鹿児島交通仙巌園前バス停(鹿児島市内向き)の廃止

仙巌園前の停留所について、国道事務所から鹿児島県バス協会に対し、25年8月31日までに移設するよう命令が出ました。

しかし鹿児島交通としましては、

・用意されたバスベイ及び停留所が丁字路交差点内にある点
・バスベイから走行車線に戻る際、次の信号までの短い区間で2車線分の車線変更を行わないといけない点
・お客様が仙巌園等の施設から停留所へ移動する際、道路を2回横断しないといけない点

以上の3点において、お客様を危険な場所で乗降扱いすることができない、またバスの運行の安全性が確保できないと判断してまいりましたので、安全性を確保できる適切な場所に停留所を移設するべく、別途鹿児島国道事務所に占用許可申請をしました。

しかし期限が迫る中、占用許可が下りず、お客様への周知期間なども考慮し「25年8月31日をもって廃止」という苦渋の決断をしました。

鹿児島交通乗合路線バスの運賃改定

鹿児島交通は25年6月30日に行った一般路線バス運賃の上限運賃変更認可の申請に対し、9月1日付けで国土交通省九州運輸局長よ

News Release　鹿児島交通

２０２５年９月１日
鹿児島交通株式会社

一般路線バスの運賃改定について

鹿児島交通株式会社（本社:鹿児島市、代表取締役:岩崎 貴光）は、2025年６月30日に行った一般路線バス運賃の上限運賃変更認可の申請に対し、本日９月１日付けで国土交通省九州運輸局長より認可を受けましたので、下記のとおり運賃改定を実施いたします。

物価高による燃料費や修理費、人件費の増加しており、また不足する運転手の確保対策として処遇改善にかかる費用など、バスの運行に必要不可欠な費用が増加しており、これらに対応するため運賃の見直しを行うものであります。

ご利用いただいておりますお客さまにはご負担をおかけいたしますが、何卒事情ご賢察のうえ、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

記

1. 運賃改定実施日　2025 年 10 月 1 日(水)

2. 改定対象　全一般路線（一部除く、コミュニティバス除く）
鹿屋～空港線の一部
せんだい号・こしきじま号の一部

3. 基準賃率　34 円 90 銭 ⇒ 50 円 00 銭

4. 運賃比較

		現行実施運賃	改定実施運賃	改定上限運賃
初乗り運賃		160 円	200 円	200 円
特殊区間 鹿児島市内中心部	1区	190 円	200 円	300 円
	2区	220 円	230 円	330 円

※ 実施運賃とは、実際にお客様にお支払いいただく運賃額のことです。
上限運賃とは、事業経営に必要な原価に応じて算出されるバス事業者が収受できる運賃の上限額です。

定期料金の計算式に変更はありません。区間運賃の増加に伴い増加します。

5. 実施運賃の平均改定率　12.06%
※上限運賃の平均改定率　44.2%

＜お問い合わせ先＞
本社乗合営業部　099-254-8970

り認可を受けましたので、下記のとおり運賃改定を実施いたします。

●改定日　25年10月1日（水）

●対象路線　全一般路線（一部除く、コミュニティバス除く）鹿屋～空港線の一部、せんだい号・こしきじま号の一部

●定期券について　現在のお持ちの定期券は運賃改定後もそのままご利用いただけます。10月1日以降の新規発券および更新時は改定後の運賃で定期料金が算出されます。（定期券の割引率は変更なし）

ICカード乗車券ラピカ・いわさきICカードのプレミアム9月30日限りで廃止

05年4月のICカード乗車券の導入以来続けてまいりました、ラピカ及びいわさきICカードの積み増し時における「プレミアム」付与のサービスを、9月30日をもちまして終了させていただきます。

プレミアムの付与につきましては、公共交通のサービス向上と利用促進を図るため、ICカード乗車券の導入と同時に開始したところですが、近年、利用者の減少、運転士不足に加え、物価高騰や人件費増など、交通事業をとりまく経営環境が大変厳しい中において、同サービスが交通事業者の経営を圧迫している状況でございます。

将来に向けて公共交通を持続可能なものとするため、各事業者において経営改善の取組を進める中で、今回、事業者間で協議の上、やむを得ずプレミアムの廃止を判断したところでございます。

※ラピカ及びいわさきICカードは、引き続き共通乗車券としてご利用いただけます。

※9月30日までに付与されたプレミアムは、10月1日以降もご利用可能です。

※現在、九州運輸局へ認可申請中のため、内容に変更がある場合がございます。

ポイント付与については継続します。

※購入または前回の積み増しからの利用された運賃額に対して1%付与

※10円単位で付与（10円未満次回持ち越し）

乗継割引については継続します。

南国交通エアポートシャトルに、車いす対応エレベーター付きバスを導入

10月1日ダイヤ改正で、鹿児島中央駅前～鹿児島空港間の1往復を車いす対応車両による運行とし、車いすのままでのご乗車ご希望の場合に限り、前日15:00までの予約が必須となります。（車いすは1台のみ対応可能のため）

また、車両の整備・点検などで車いす非対応車両になる場合があります。

※鹿児島市内の乗降は『鹿児島中央駅（南国交通バスターミナル）』限定となります。

■最近の新規登録車など

鹿児島200あ･624/二川交通

鹿児島200あ･627/さつま交通観光

鹿児島200あ･635/国分観光バス

鹿児島200か2534/ウイキャン観光

鹿児島200あ･646/あいら交通

鹿児島200か2538/ウイキャン観光

鹿児島200あ･652/国分観光バス

鹿児島200か2543/加治木観光バス

鹿児島200か2531/さつま交通観光

鹿児島200か2550/加治木観光バス

鹿児島200か2556/鹿児島中央観光バス

鹿児島200か2566/南薩観光

鹿児島200か2607/南国交通

鹿児島200か2571/鹿児島交通

鹿児島200か2608/ひまわり交通

鹿児島200か2584/さつま交通観光

鹿児島200か2609/南国交通

鹿児島200か2594/加治木観光バス

鹿児島200か2625/ウイキャン観光

鹿児島200か2602/九州みやび観光

【参考文献等】

ホームページ　南国交通　いわさきコーポレーション　鹿児島市交通局　wikipedia　沖永良部バス企業団　南九州市　いちき串木野市　都城市